

メディカル物流ニュース

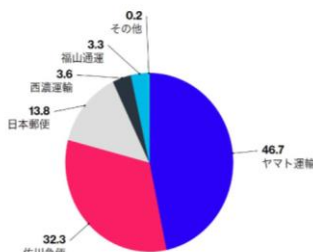
物流コスト値上げ

ネット通販の盛り上がりで運送業界では人材不足が深刻となっている為、適正な運賃を払ってくれる荷主を優先的に選べるほど仕事は十分にあります。

ヤマト運輸がインターネット通販最大手の米アマゾン・ドット・コムとの運賃交渉で値上げ幅は4割超となるもようです。

ネット通販の利用者急増とは裏腹に人材不足の物流が足かせになりつつあります。ネット通販の成長と消費者の利便性維持を両立するために、物流会社、荷主、消費者の間で物流コストを再配分する動きが本格化してきました。

約半分のシェアを占めるヤマト
2015年度の宅配便各社のシェア (%)



出所：国土交通省



こんな問い合わせいただいております。

～問い合わせ内容～

アウトソーシング先から化粧品出荷の配送料の値上げの要請があったが、コストを抑えたい。

東京メディカル物流センターからのご提案

値上げ幅に関しては地域や取り扱い商材、量によって異なるようですが、弊社からは、現在運用している全体の物流コストと値上げ後の状況、また、弊社が運用した場合を比較表にまとめ、弊社で運営管理した場合のメリットが一目で分かるように、ご提案いたしました。その他、現状の運用に加え、弊社のこれまでのノウハウから販路拡大につながると思われる運用フローを併せてご提案させて頂きました。

東京メディカル物流センター物流改善コーナー

【Before】

・ゼニール袋に入れ
ラックに貼り付け
出す、戻すの工程必要

【After】

・段ボール製保管ケース作成、
ロール式で必要なだけ、すぐ引出
せる。戻す必要なし



ラベルボックスの変更

3枚つづりにカットしたラベルを袋に入れて、使用の都度出し入れしていました。印刷したロール状のままラベルを使用できる箱を作ることにより、必要枚数だけラベルをカット出来、戻す作業がなくなった分効率化が図れました。1秒/回×1000回/日＝1000円/日の削減効果

担当者からの一言



細見(ホソミ)

ネット通販が本格化する中、仕事量が増え売り上げが右肩上がり伸びていく宅配業界でしたが、人手不足や配達先の不在で、疲弊していくのは現場のドライバーでした。

実は先日私の自宅に荷物を配送してくれたのは75歳過ぎのドライバーで、荷受けと同時に引き取りをお願いしていましたが、要件を伝えても耳が遠いのか伝わっておらず、準備中に帰ってしまいました。1時間後にまた引き取りに来られましたが、宅配現場の現状を改めて思い知らされる出来事でした。